

潤滑管理、日常点検、設備トラブルの原因調査方法など

設備保全 初心者マスター講座



稼働率を向上させるための保全における基礎スキルを学ぶ

■ 日時 2024年 10月23日(水) 午前9時45分～午後4時45分

■ 会場 大阪府工業協会 研修室 大阪市中央区南本町2丁目6-12 サンマリオンタワー4階
地下鉄御堂筋線「本町」駅 9番出口より徒歩約4分
中央線・堺筋線「堺筋本町」駅 8番出口より徒歩約3分

■ 講師 株式会社 保全ラボ 代表取締役 清岡 大輔 氏

旭化成にて設備保全の技術者として15年勤務。3つの工場で3,000件のトラブルを経験。4,000台以上の設備を管理。10,000件以上の修繕・設備工事を実施。2018、2019年、2年連続 社内有効賞受賞(設備改善)する。2022年保全ラボを設立。設備保全ツールや教育サービスを開発し提供。またMBAホルダーとしての経営支援力で、中小工場の支援を行っている。



《会場案内図》

■ 受講費 1名につき 会員企業の方 29,150円 / 会員以外の方 35,200円 ※いずれも消費税込
[振込先] ・三井住友銀行 備後町支店 当座 No.201068 ・三菱UFJ銀行 信濃橋支店 当座 No.321966 ・りそな銀行 大阪営業部 当座 No.1027054

申し込み方法 下欄の受講申込書をFAXで当協会宛にお送りください。(ホームページからもお申し込みいただけます。) 折返し、受講票・請求書を電子ファイルでお送りいたします。※恐縮ですが振込手数料はご負担ください。 ※開催2営業日前以降に取り消しの場合、受講費を全額ご負担いただきますので、代理の方がご出席ください。

設備保全に携わる方や、これから設備保全に携わりたいと考えている方を対象に、設備保全を行ううえで必要な基礎知識とスキルを習得し、効率的な保全を推進できる人材を育成することを目的としています。設備保全の概要と効果、基礎スキル(潤滑管理、日常点検、設備トラブルの原因調査)、および主な業務内容を学びます。儲かる工場にするために会社に設備保全の知見を取り入れる機会にしてください。

《主催》 公益社団法人 大阪府工業協会 〒541-0054 大阪市中央区南本町2丁目6-12
サンマリオンタワー4階 TEL 06-6251-1138

受講申込書 | 設備保全 初心者マスター講座

No. 4217-3902 AS

会社名	〒 -		部署・役職名	氏名	実務年数
					年
所在地					年
					年
TEL	FAX	主要製品	従業員数		名

◎申込担当者 下記の方に受講票・請求書発行の通知メールを送ります。指定のURLにアクセスし電子ファイルをダウンロードしてください。

部署・役職名 氏名 E-mail アドレス(必須)

お申し込みは ▶ FAX 06-6245-9926 公益社団法人 大阪府工業協会

※申込書にご記入いただいた内容は、事務処理(受講票・請求書の発行等)・担当講師への受講者名簿提示のほか、研修案内の送付に利用させていただく場合がございます。なお、内容の訂正・利用停止をご希望の際は、当協会までご連絡ください。

<https://www.opmia.jp/>
ホームページからも受講申込できます

1. 設備保全とは何か？

1. 設備保全の目的と概要
2. 保守メンテナンスとの違い

2. 潤滑管理のポイント

1. 潤滑管理の目的
2. グリス管理のポイント
 - グリスアップのポイント
 - グリスの状態と原因
 - 選び方とちょう度の使い分け
 - グリス量の目安
3. オイル管理のポイント
 - オイル交換のポイント
 - オイルの種類
 - オイルの選び方のポイント
 - オイルゲージの見方
 - オイルの日常点検のポイント

3. 設備の日常管理のポイント

1. 点検と監視の違い
2. 日常点検の進め方（業務フロー）
3. 代表的な異常の例と点検方法
 - 漏れ、緩み、異常振動、摩耗、ずれ
4. 点検チェックシートの視点『目で見える管理』

4. 設備トラブルの原因調査と再発防止

1. 設備が損傷する原因
2. 部品の劣化パターン
3. トラブル発生から再発防止までの進め方（業務フロー）
4. トラブル再発防止の方法・恒久対策のコツ

5. 現場に則した保全計画の立て方・進め方

1. 設備構造と生産条件を理解することの重要性
 - 機械的、電気的、制御系の構成要素の把握
 - 設備図面やマニュアルの活用方法
2. 設備の重要度とリスクに応じた点検や検査
 - 各設備の生産プロセスにおける重要度の評価方法
 - 点検・検査の頻度と範囲
3. 点検・検査項目の具体的な内容と進め方

6. 保全データのモニタリングと利活用

1. 保全予算の分析方法
2. 保全履歴の分析
3. 設備情報の整理

7. 設備保全における目標値の決め方と運用方法

1. 設備保全の目標値の決め方
2. 目標設計の失敗事例
3. 正しい目標値のつけ方
4. 正しい目標値と収益性の関係